

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 7	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and lipoprotein subclasses in older adults. 高齢者の飲酒量とリポ蛋白分画	
執筆者	
Mukamal KJ, Mackey RH, Kuller LH, Tracy RP, Kronmal RA, Mittleman MA, Siscovick DS.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Clin Endocrinol Metab. 2007 Jul;92(7):2559-66.	
キーワード	
飲酒、コレステロール、粒子径、パーティクルサイズ、スペクトロスコピー	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>冠動脈疾患と飲酒との関連は指摘されているが、その機序に関与すると考えられる飲酒とリポ蛋白分画との関連についての知見は十分ではない。したがって本研究では、飲酒とリポ蛋白分画との関連について検討した。</p> <p>方法：</p> <p>Cardiovascular Health Study の 65 歳以上の対象者で心血管障害のない 1850 名の断面調査によるデータを分析した。リポ蛋白分画粒度分布は核磁気共鳴スペクトロスコピー (MR-S) により測定され、飲酒量別に評価された。</p> <p>結果：</p> <p>飲酒量と LDL コレステロール粒子は U カーブを示した。非飲酒者と比較してエタノール換算で 12g 以上/週のアアルコールを摂取するものは大粒子径 LDL が多く (88~97%増)、小粒子径 LDL は 84-156g/週で最も少なかった(35%減)。飲酒量は大粒子および中粒子 HDL と強い正の関連を示したが (p for linear trend はいずれも <0.001)、小粒子 HDL とは逆の関連を示した (p for linear trend=0.02)。HDL、LDL、VLDL の平均粒子径は飲酒量に応じて増大した (p for linear trend はすべて <0.001)。これらの関連は男性より女性で顕著であったが、傾向には性差を認めなかった。アルコール飲料の種類はこれらの関連に影響を及ぼさなかった。</p> <p>結論：</p> <p>心血管障害のない高齢者では、飲酒量が多いと小粒子 LDL、小粒子 HDL、および小粒子 VLDL が少なく、大粒子 LDL、大粒子および中粒子 HDL が高いことが示された。</p>	